

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

令和元年度 東海環状養老海津地区中地盤改良工事

発注者: 岐阜国道事務所 受注者: 杉山建設株式会社



現場代理人 ^{たかはし} 高橋 ^{あきひろ} 亮祐
(2013年入社 6年目:29歳)

自己紹介

私は高校、大学ともに土木科を卒業し、地元岐阜県の杉山建設株式会社に就職しました。

入社当時は今まで学校で得た知識以外に、現場に出て初めて得る知識や経験が多くあり、最初は戸惑いました。しかしそんな私に先輩方には優しく、時に厳しく指導していただき、日々勉強をさせていただいてます。



工事概要

工事箇所: 岐阜県養老郡養老町

工期: 令和元年8月27日～

令和 2年3月18日

工事内容: 地盤改良工1式, 仮設工1式

本工事は、一般国道475号 東海環状自動車道のうち、養老町地内の盛土区間における軟弱地盤対策として、深層混合処理(CI-CMC工法)を施工します。

現場での役割

現場では測量・丁張による位置出し、品質・出来形などの施工管理、また最近では電子黒板による写真管理や快速ナビによる測量など新しい技術に取組み、より良いものづくりを心掛け施工管理を行っています。また、無事故無災害で工事を完成させるために安全管理に努め、現場の危険の芽を摘み取る活動を日々行っています。



これから建設業を目指す皆さんへ

現場監督は最初に覚えることがたくさんあり、大変だと思います。ですが現場を経験し、工事完成までやり抜くことで自己のスキルアップや達成感、充実感など、とてもやりがいがあります。また作ったものは自分や家族、友人が利用したり、地図に載るので「これは自分が作った」という誇りも感じられます。

建設業は一般的に「きつい・汚い・危険」の3Kのイメージがあると思いますが、近年政府主導による働き方改革の一つとして、労働時間法規制の見直しが有り、残業時間の削減、週休2日制の導入等により改善されつつあり、働きやすい環境になっています。

建設業に興味を持っているみなさん、一緒に日本の建設業界を盛り上げましょう。